

家庭掲示用

Jアラート発信時の対応について

これはあくまで、原則です。不測の事態に備えて、命の安全を最優先する行動がとれるよう、日常の家庭での話し合いが大切です。

令和8年4月
厚岸町立厚岸小学校

登校前(朝)

ミサイル発射等のJアラート発信

自宅待機
(学校からは連絡しません)

教育委員会が安全確認の判断
⇒学校へ連絡

安心メールで保護者へ連絡

スクールバスの対応

登校可能な場合、「1時間遅れ」か「2時間遅れ」のどちらかの対応となります。

登下校中

学校は、通学路を巡視します。保護者の方も協力をお願いします。

ミサイル発射等のJアラート発信

各自の判断
(学校からは連絡しません)

自宅へ戻る(自宅待機)

学校に登校

頑丈な建物に避難する

バス乗車中は、乗務員の指示に従う

教育委員会が安全確認の判断
⇒学校へ連絡

学校から保護者へ連絡
状況によっては、安心・安全メールを使う場合もある

情報収集(無線を聞く、近くにいる人に聞く、10~20分程度状況が変わらないなど)し、安全確認できたら、登下校する。

在校中

ミサイル発射等のJアラート発信

校内で安全確保

教育委員会
(安全確認の判断)

安全確認後、授業

下校

下校時刻に変更があった場合は、安心・安全メールでお知らせします。

下校時刻に近い場合は、安全確認がされてから下校するなど、状況により、学校待機とする場合もあります。